



あんさんぶる荻窪の廃止は 駅前開発失敗のツケ

財務省に カラ手形

家賃タダで税務署を駅前ビルに入居させる？



児童館や消費センター、福祉事務所などが集まる複合施設「あんさんぶる荻窪」。区と区民が構想 7 年を経て造った杉並が誇るコミュニティ施設です。

あんさんぶる荻窪と荻窪税務署等国有地の財産交換(※)を巡り、重大な疑惑が次々と明らかになっていきます。
田中区長はこれまで「大規模な特別養護老人ホーム整備のために財産交換が必要」としてきました。しかし実際は、財産交換は田中区長による荻窪駅前開発の失敗のツケだったことが発覚したのです。これは住民が国に情報開示を求めた新資料によって明らかになりました。

※ 財産交換とは？ 前代未聞の税金ムダ遣い

2013年、田中区長が突然発表した「あんさんぶる荻窪」と天沼地域の「荻窪税務署及び国家公務員宿舎跡地の2つの国有地」を交換する方針。大規模な特別養護老人ホームを建設することを理由に財産交換が必要とされてきました。しかし、建設費 28 億円、築 10 年のあんさんぶる荻窪を国に差し出すため、約 40 億円で他所に建て直すなどのムダ遣いや、児童館の廃止など区民サービス低下に批判が殺到しています。

新資料で 真相発覚！

その資料(裏面)はH22年、区長が財務省に送付した要望書です。そこには荻窪駅前開発に国を巻き込もうとしたのか、税務署を家賃無料で駅前ビルに入れることを約束、税務署の現在地(天沼3)での改築休止を求める要望が記されていました。

区長はその後、一向に用地を確保できず二年半が経過。国への約束は完全なカラ手形となり、財務省の激怒をかった区長は苦肉の策として、あんさんぶる荻窪を国に

差し出すような財産交換を発表した、という真相が浮かびあがってきたのです。

共産党区議団 真相解明に全力

現在、第一回定例会が開会中。財産交換は最も注目される議題となりました。新資料で明らかになった経緯と、この間の田中区長の説明は事実と大きく異なり、住民や議会に虚偽の説明を繰り返してきたことになりました。

区議会の複数の会派から計画への疑問の声が出されている状況です。日本共産党区議団は、あんさんぶる荻窪を残しながら大規模特養ホームの建設を進める対案を示し、真相究明のために、区議会各会派に慎重審議を呼びかけています。



傍聴において 下さい！

財産交換方針は今議会
で審議されます。真相解明
を進めるべきです。

総務財政委員会
2月24日 午前10時～
区議会中棟第三委員会室